

14:35 ~ 15:35 講演 2

「共進化遺伝的アルゴリズムを用いた多目的最適化の取り組み」

近畿大学 工学部 情報学科

阪口 龍彦先生

設計と生産計画、配席と送迎計画など、意思決定の対象は異なるものの互いに関連する意思決定問題は身の回りに多数存在する。これらは、各々が求解困難な最適化問題であり、一般的に個別に意思決定が行われることが多いが、全体最適の観点から同時に考慮することが望ましい。本講演では、共進化遺伝的アルゴリズムを用いてこれらの問題を同時に最適化する手法について紹介する。

15:35 ~ 15:50 休憩

15:50 ~ 16:50 講演 3

「スケジューリングは使えない!？」

早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科

谷水 義隆先生

表題は私が学生の頃に研究室でお会いした社会人の先輩から聞かされた言葉です。スケジューリングは使えないという理由の一つに外乱の発生があります。製造現場では、作業の遅延や特急オーダーの追加など予測できない外乱が頻繁に発生します。外乱が発生すると、あらかじめ作成した最適な生産スケジュールをそのまま使うことはできません。そこで、環境の変化に適応する動的なスケジューリング手法が必要になります。本講演では、動的なスケジューリング手法の一つとして、遺伝的アルゴリズムを用いたリアクティブスケジューリング手法を紹介します。また、Society5.0時代におけるスケジューリングの将来性について考察します。

- ◇ 参加資格：スマート・フレキシブル・オートメーション (SmFA) 研究分科会会員
第 23 回例会にご出席される方は、2020 年 12 月 4 日 (金) までに、メール (smfa-staff@kaede.cs.kobe-u.ac.jp) まで、①ご所属、②お名前、③E-mail アドレス、④研究例会の出欠をご連絡いただきますようお願いいたします。

※SmFA 研究分科会に入会ご希望の方は、事前に手続きをお願いいたします。

問い合わせ先：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学大学院システム情報学研究科 貝原俊也

(事務局担当：國領、坂本)

Tel: 078-803-6250、 Fax: 078-803-6391

E-mail: smfa-staff@kaede.cs.kobe-u.ac.jp

Web: <http://smfa.iscie.or.jp>